

○第2回大平・熱海・岸賞決まる

第2回大平・熱海・岸賞表彰選考委員会が平成26年7月28日（月）に行われ、次の5団体が選考されました。9月20日（土）の「みんなで広げよう健康の輪！2014」の席上にて表彰されることとなります。

【 結核、生活習慣病等の検診事業の推進に顕著な功績のあった団体 】

◇大蔵村

早くから住民検診に人間ドックを推奨し、医師・保健師・保健衛生推進員など村が一体となり健康管理に取り組み、各種がん検診及び特定健康診査の受診率向上等に顕著な功績があった。

◇庄内町

検診の無料化や職場のがん検診の受診機会がない住民を対象にモデル事業を展開し、受診機会拡大の取り組みを積極的に行い、各種がん検診及び特定健康診査の受診率向上等に顕著な功績があった。

【 結核、生活習慣病等の予防に関する調査、研究又は開発に貢献のあった団体 】

◇山形大学医学部外科学第一講座

視触診とマンモグラフィ併用乳がん検診の実施に当たり、平成10年度に実施方法について関係機関と連携しながら中心となって検討を行い、併用検診の普及に尽力した。若い層の検診精度向上を目的に、平成19年度から厚労省の乳がん検診における超音波検査の有効性を検証する比較試験に参加するため、検診機関の技師養成や検査体制の整備について指導を行った。また、集団検診データを活用し、県内外の学会や研究会での発表・報告を行い精度の向上に貢献した。

【 結核、生活習慣病等の予防に関する啓蒙活動に貢献のあった団体 】

◇やまがたピンクリボン運動実行委員会

全国的にも早期に実行委員会を設立し、乳がん検診受診の重要性を訴えマンモグラフィ併用受診のPRイベント等を積極的に行う等、検診の重要性と乳がんの早期発見に関する普及啓発活動を活発に行い、県民の健康増進に貢献した。

◇NPO法人山形県喫煙問題研究会

「きれいな空気を子供たちに」を合言葉に、医療、教育関係者だけでなく、行政や一般市民と一体となり、本県の喫煙防止教育、禁煙支援、治療、受動喫煙防止の活動等、普及啓発活動を積極的に行い、県民の健康増進に貢献した。

…大平・熱海・岸賞とは…

当法人の前身である旧財団法人山形県結核成人病予防協会の役員として、長年に亘り事業の推進に御尽力を頂いた、故大平禎介氏、故熱海明氏、同会元会長の岸陽一氏ご夫妻の御寄付に基づき設立された顕彰制度であり、結核、生活習慣病等の予防等に関し特に顕著な功績のあった個人、団体が表彰されます。